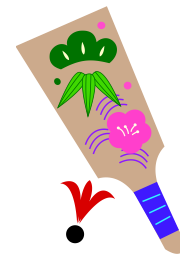


あけましておめでとうございます 市民のみなさまの声を届け、今年も頑張ります



市民と連帯し、産文会館復活を!

市議会議員 益田牧子

年末のあわただしい総選挙。結果は、自民党が、4割台の得票率で、8割台の議席をかすめ取りました。消費税増税、憲法改悪に立ち向かうためにも、「7月の参議院選挙は、負けられない」との思いを強くしています。熊本市政では、幸山市長が、破たんした「花畑地区再開発」を反省するどころか、開き直り、壊そうとしている産業文化会館の再開問題。「壊すのは、もったいない!もったいない!」と存続を求める署名を集めたいものです。政令市になり、税収は減少しているのに、高度成長時代の「大型ハコモノの病」にかかった幸山市政。効くのは、有権者の署名の重みです。1月20日には、生活相談所開設9周年の「新春のつどい」を春竹コミュニティセンターで開催し、今年も、地域みなさんと元気にスタートします。ご参加ください!



「福」いっぱいの1年に

熊本市議会議員 上野みえこ

昨年末の総選挙では、民主党政権にきびしい審判が下り、自民党が圧勝しました。しかし、民意に背くその政策は、早晚破綻するに違いありません。今年は、参議院選挙です。住民の立場で、ブレずに頑張る日本共産党の役割がますます重要です。躍進に向け、頑張ります。

また、大型ハコモノ優先の市政では、政令市の喜びは感じられません。いのち暮らしが大切にされる市政実現に、力を尽くしたいと思います。

昨年我が家は激動でした。長男が結婚、嫁と同居して私は「姑」に。長女が就職し、二男は大学へ進学。孫が誕生し、「おばあちゃん」になりました。あわただしく、にぎやかな1年でした。

我が家の庭には、南天が赤い実をつけています。

「難を転じて福となす」

来年がみなさまにとりまして、「福」いっぱいの1年となりますよう、祈念いたします。



「日本一暮らしやすいまち」 実感できる年に!

市議会議員 なすまどか

この1年間、多くの生活相談が寄せられました。無年金による生活苦、税金滞納による差し押さえ、医療費が払えず病院に行けないなど、貧困の広がりも多くの方々に多大な苦しみを押しつけ、希望を奪っています。

自己責任論や競争主義にさらされ自らを責める相談者に対して、「貧困を拡大してきたのは政治の責任。ならば一緒に政治を変えるために力を合わせましょう」と励まし合いながら過ごした1年でした。

自民党が多数の議席を占める結果となった総選挙。戦後守り続けてきた憲法に大穴をあけ「国防軍」を明記するとした動きも具体化しています。子どもたちに、平和な社会を手渡すためにも、暮らしと憲法を守るたたかいの歩みを止めるわけにはいきません。

「政治は変わるし、変えられる」私の政治家を目指した初心に立ち返り、今年1年間も全力で駆け抜けたと思います。



日本共産党 市議会だより

発行：日本共産党熊本市議団

ますだ牧子 上野みえこ なすまどか

熊本市手取本町1-1 議会街

NO. 832

2013年1月新年号

電話 328-2656

FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/



すべての子どもたちが、安心して学べる教育に！

高等教育無償化と、奨学金制度の拡充を

教育委員長の答弁

「国際人権規約批准留保撤回は、意義深い」

世界のほとんどの国が、中学・高校・大学の無償化を定めた国際人権規約（A規約）第13条の2項b・cを批准し、高校無償化はいまや世界の常識です。一方、その批准を留保し、世界の流れに背を向けてきたのが、加盟160カ国中、日本とマダガスカルの2国だけでした。しかし、日本も今年9月にこの条項の留保を撤回、高等教育無償化の方向が明確にされました。上野議員は、その意義について教育委員長に質しました。

教育委員長は、「私自身、これまで高等教育に従事したものとして意義深く、今後の国の動きに期待したいと感じている」と答弁しました。

給付制奨学金を求める声が強まっています。現在、全国では、返還しなくていい給付制奨学金のある自治体が234あります。（政令市では8市、県下の玉名市・上天草市など）給付制奨学金実施や、入学金などの入学準備に対応できる奨学金制度の改善を求めました。

特別支援学級にエアコンの設置を

日本共産党市議団は、すべての教室にエアコンを設置することを求めてきました。今回の質問では、せめて「特別支援学級」の教室には速やかに設置することを求めました。

少人数学級の拡充を！

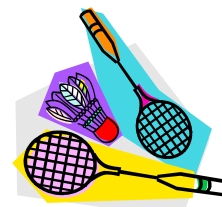
文部科学省の調査では、今年度前半の「いじめ」が14万4,000件、昨年1年間の2倍以上と報告されました。専門家は、教員が子どもにもっと丁寧にかかわれる勤務条件が必要であると指摘しています。合わせて子どもの抱える問題をひっくるめて受け止め、適切に対応できる、学校での幅広く・深い指導が必要です。

一方で、困難事例への対応や多忙化で、教師の消耗と苦悩は深まっています。公立学校の病気休職者は5年で2・5倍に増え、教師の自殺者も年々増え、2009年度は150人近くにもなっています。上野議員は、教職員が子どもにしっかりと向き合えるよう、少人数学級を小中学校の全学年へ広げるよう求めました。

就学援助、

クラブ活動費、生徒会費、PTA会費も対象に

国は2010年度から、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費を就学援助の項目に新設し、地方交付税で財源措置しています。当然支給すべきです。3項目について、教育委員会として次年度予算要求し、ぜひ支給するよう求めました。



市議団の1年間の活動を振り返って

*7.12 水害対策、国・県会議員と連携し取り組む

7.12 水害には、国会議員・県議と連携し、現地に出向き、被災地の要望を聞き取り、国・県・市への要請活動を行いました。立野ダム建設によらない「白川整備計画」を求め、今後も国・県・市連携で取り組みます。

*花畑地区再開発が破綻、産業文化会館再開を！

12月、花畑町再開発計画が事実上破たん。「熟度が低い」再開発計画であり、産業文化会館は廃止するべきでない」との日本共産党市議団の主張の正しさが証明されました。しかし、幸山市長は、来年度予算で産文会館を取り壊し、公園化を計画。13年早々から「産業文化会館の再開を求める」署名運動を！

*政治倫理条例の改悪を市民と共にストップ！

政治倫理条例の改悪を、市民の皆さんと共に、調査請求に必要な「有権者200分の1」を守ることができました。

*超党派で熊本市中小企業振興基本条例を制定

市議会の超党派で「政策検討会」がつくられ、熊本市中小企業振興基本条例を12月議会で制定しました。

*認可外保育所に通う家庭の保育料軽減制度実現

*障がい者福祉タクシー券とガソリン券選択を！

粘り強い障がい者団体の声に応えて、市がアンケートによる実態調査を実施し、現在集計中です。実現に向け、あと一歩です。共に力を合わせましょう。

*住宅リフォーム助成制度実現を何としても！

鹿児島市では、3億円で、32億円の工事費、約54億円の経済波及効果！県下でも宇土市、人吉市など大きく広がりました。市議会の度に取り上げ実現を迫っています。熊本市でも実現させるために、引き続き頑張ります。